

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 金属環境事業部企画課 栗原、山下 TEL:03-6758-8032
広報担当： 総務部広報課 西川 TEL:03-6758-8106

旧松尾鉱山新中和処理施設で JOGMEC エコツアーを開催

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:河野博文)は、5月21日(水)、旧松尾鉱山新中和処理施設(以下、新中和処理施設)において JOGMEC エコツアーを開催しました。

このエコツアーは、資源開発と環境保全両面の重要性をより多くの方々に理解してもらうために、鉱害防止支援事業の一環として平成 19 年より開催しています。今回は岩手大学人文社会科学部の学生と教授等 15 名の方に参加頂いての開催となりました。

エコツアーでは、まず初めに松尾歴史民俗資料館にて松尾鉱山の歴史を学ぶことで、鉱山開発の様子や鉱山開発が周辺地域に莫大な利益をもたらしていた様子を理解してもらいました。その後、JOGMEC が運営管理している新中和処理施設において、強酸性坑廃水を中和処理している現場を実際に見学し、北上川の清流化に多大な貢献を果たしている同施設の重要性を理解してもらいました。

最後に、資源の利用や開発、環境保全についての講演を行い、産業における金属鉱物資源の重要性や資源開発が環境に与える影響について、菱刈鉱山の鉱石を手に取りながら学んでももらいました。また、メタンハイドレートを用いた燃焼実験を併せて行い、エネルギーについても認識を深めてもらいました。

旧松尾鉱山新中和処理施設の概要

同施設は、昭和 57 年から運転を開始し、32 年間無事故で運転を続け、北上川の清流を守り続けています。

(http://www.jogmec.go.jp/mp_control/matsuo_mine_001.html)



松尾歴史民俗資料館見学



雨の降る中、話を熱心に聞く学生の様子



旧松尾鉱山新中和処理施設での坑廃水処理説明の様子



鉱石を手に取りながら講演を聞く

メタンハイドレートの燃焼実験



今回参加いただいた岩手大学人文社会科学部のみなさんと一緒に